

# 宮城道雄生誕130年記念講演会

## ～音の世界に生きた宮城道雄の世界を訪ねて～

日時：令和6年12月22日（日）

午後2時～3時30分（開場：午後1時30分）

会場：寄居町立図書館 2階視聴覚室

定員：50名（申込順）

内容：講話と演奏

講話／演目「人となり」健康ふれあい塾 金子修

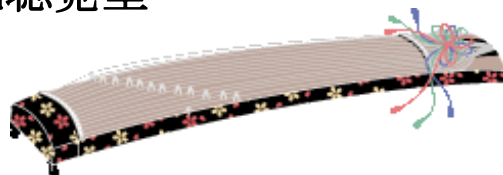
演奏／曲目「六段調」「春の海」「泉」その他

箏・中村歌翔、尺八・金子陽山

費用：無料

申し込み：図書館へ直接、又は電話でお申込みください。

電話 048-580-1888



### 《宮城道雄の紹介》

宮城道雄は、1894年に神戸市で生まれました。8歳で失明し、神戸の生田流二世中島検校に入門しました。2年後に師匠が病没したのちは、三世中島検校に師事、11歳で免許皆伝となります。13歳のとき、一家の生計を支えるために朝鮮半島に渡って、父の在住する仁川(インチョン)で昼は箏、夜は尺八を教えました。

京城（現ソウル）に移住した宮城は生涯の友となる尺八の名手・吉田晴風と出会います。そして多数の箏曲を作曲しながら、尺八や洋楽との合奏を通じて、新しい日本音楽の創造を目指してゆきます。

こうした宮城の邦楽の世界での功績は多岐にわたりますが、総括すれば、箏曲の伝統に根ざしつつ洋楽を取り入れ新しい日本の音楽を創始した点にあるといえましょう。また、巧みに音の世界を表現するなど、随筆家としても著名で、「垣隣り」「春の海」「雨の念仏」「夢の姿」などの随筆集も残されています。

主催/健康ふれあい塾・後援/寄居町教育委員会